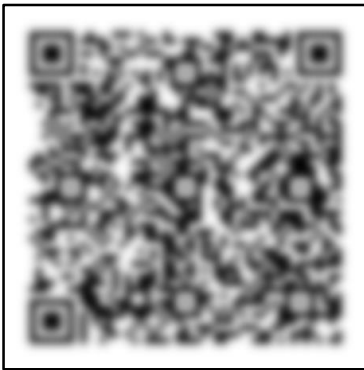




パスファインダーとは、ある事柄を調べるために役立つ基本資料や検索手段を紹介した手引きです

1. はじめに

このパスファインダーはインターネット上でも見ることができます。「竹早中学校メディアセンター」のページにアクセスし、お気に入りに登録したり、デスクトップにショートカットを貼ったりして、今後すぐに利用できるようにしておくと便利です。



「竹早中学校メディアセンター」 ※ マイクロソフトアカウントが必要です。

<https://okujiai.sharepoint.com/sites/TakeyahaMOI/SitePages/%E7%BB%9C%E6%97%B7%E3%82%A2%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC.aspx?web=1>

メディアセンターWi-Fi :

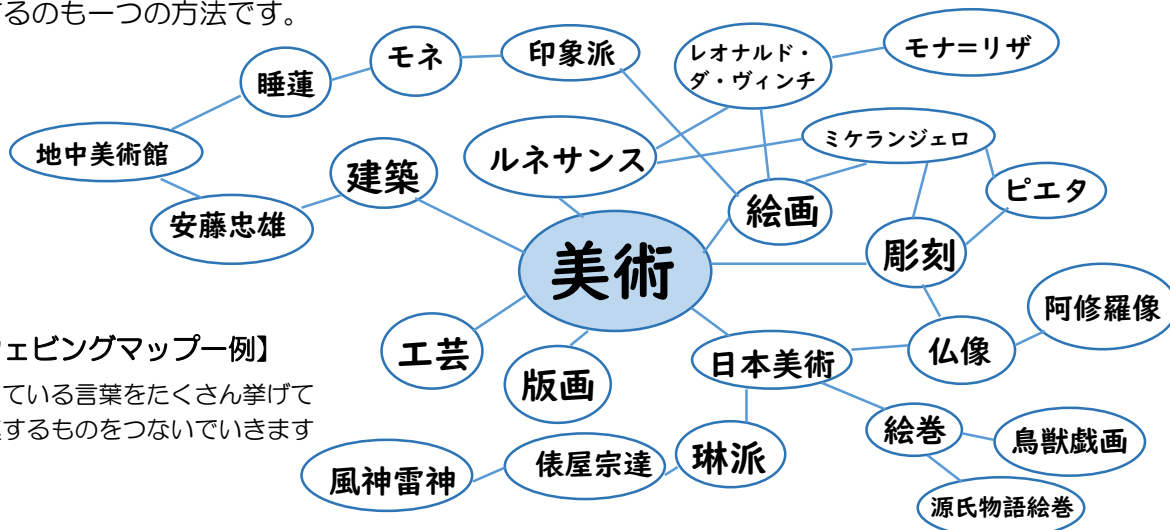
パスワード :

2. 情報の種類を確認しよう

今回の授業では、図書資料とウェブサイトを活用して探究を進めます。どの情報を使ったか後で分かるように、出典をきちんと記録しておきましょう。

3. キーワードを見つけよう

広く資料にあたってたくさんの芸術作品を鑑賞したあとは、それらの情報を整理して自分の調べたいことを少しずつ明確にしていきましょう。「ウェビングマップ」「マンダラート」など、思考を整理するためのツールを活用するのも一つの方法です。



【ウェビングマップ一例】

知っている言葉をたくさん挙げて
関連するものをつないでいきます

4. 本で調べよう

自分のテーマが決まったら、資料を探します。美術について本で調べるときは、背表紙のラベルにある分類番号が「700」番台となっている本が「芸術」分野の資料です。



5. 資料を探すためのお役立ちサイト

「この本、どこにあるの?」「こんなことについて知りたいから、載ってそうな資料を探したい」など、本を探す時にぜひ利用してほしいサイトです。

- * **東京学芸大学附属竹早中学校の蔵書検索** <https://private.calil.jp/gk-2003081-r6s9v/>
学校HPの「蔵書検索」ボタンから、パスワード「XXXXXXXXXX」を入力。竹早中の蔵書を検索・予約できる。
- * **東京学芸大学「GAKUMOPAC」** <https://www2.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/gakumopac/>
東京学芸大学附属図書館と附属学校10校1園舎、附属近隣図書館の蔵書を横断検索。
- * **カーリル「カーリル」** <https://calil.jp/>
全国7400以上の図書館にある蔵書について、リアルタイムで貸し出し状況を確認できるサービス。

6. デジタル資料を活用しよう

近年、多くの美術館や博物館が、所蔵する貴重な文化財をデジタル画像に加工して公開しています。日頃は非公開となっているような貴重な資料も、自宅や学校の端末から閲覧できるので、どんどん活用しましょう。

- * **国立文化財機構「e 国宝」** <https://emuseum.nich.go.jp/>
4つの国立博物館(東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館)および奈良文化財研究所が所蔵する**国宝**と**重要文化財**1,000点余りを高精細画像で閲覧することができる。
- * **国立文化財機構「ColBase(コルベース)：国立文化財機構所蔵品統合検索システム」**
<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>
4つの国立博物館および奈良文化財研究所にある**全ての所蔵品**(約13万件)を横断的に検索できるサービス。画像は作品の著作権保護期間を過ぎているもののうち、デジタル画像が準備されているものに限られる。所蔵館ごとの検索が可能。

“あつ森”で文化財探索！

Nintendo Switch のゲームソフト『あつまれ どうぶつの森』の中に、国立文化財機構の所蔵品をモチーフとしたさまざまなエリア、夢番地「ぶんかつ島」(コード：DA-4716-9183-8075)があります。見返り美人風の着物を着たり、洛中洛外図屏風をモチーフとした町を歩いたり・・・日本の文化財を知る入り口となりそう。ゲームのない人も、YouTube で「ぶんかつ島」の世界をのぞくことができます。

* 【あつまれどうぶつの森】夢番地公開！「ぶんかつ島」案内

日本美術をテーマにした島で遊ぼう -YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=VyscPmzvoPs&t=324s>



* 国立国会図書館「**ジャパンサーチ**」 <https://jpsearch.go.jp/>

日本の様々な分野のデジタルアーカイブと連携し、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム。

* 文化庁「**文化遺産オンライン**」 <https://bunka.nii.ac.jp/>

日本の文化遺産についてのポータルサイト。全国の美術館・博物館の所蔵品情報を閲覧できる。時代や分野、地域、文化財体系(国宝/重要文化財、重要無形文化財、史跡、選定保存技術など)といったカテゴリから検索することが可能。(2023年1月5日現在 参加館数 1,045 館 公開作品件数 274,649 件)

* (有)ウィリング「**アンドラデジタルアーカイブリンク**」 <https://andla.jp/da/>

大学や図書館、美術館や博物館、官公庁、企業などが運営・公開しているデジタルアーカイブのウェブページを検索できるプラットフォーム。直接画像を見ることはできないが、さまざまなデジタルコレクションの公開機関を案内しており、各機関のウェブページへ簡単にアクセスできる。

* 国立情報学研究所・東京大学ほか「**Cultural Japan(カルチュラル・ジャパン)**」 <https://cultural.jp/>

世界中の美術館・博物館・図書館などで公開されている日本文化に関する情報(100万件以上)を集約して検索できるサイト。浮世絵・工芸・武器などの種類別、人物別、時代や所蔵国など様々なカテゴリから検索することができる。

* ルーヴル美術館「**COLLECTIONS**」 <https://collections.louvre.fr/en/>

フランスのルーヴル美術館とウジェーヌドラクロワ国立博物館に所蔵されたすべての作品(約49万点)をオンラインで公開。館内地図も掲載され、各展示室の様子を画像で確認することもできる。

* メトロポリタン美術館「**Art COLLECTION**」 <https://www.metmuseum.org/>

アメリカ・ニューヨークのメトロポリタン美術館が所蔵する37万点以上の作品を公開している。古今東西あらゆる時代・地域の作品を眺められる。

* エルミタージュ美術館「**The State Hermitage Museum**」

<https://www.heritagemuseum.org/wps/portal/hermitage?lng=en>

ロシアのエルミタージュ美術館公式サイトから閲覧できるコレクションは30万点以上。バーチャル鑑賞では美しい建物も堪能できる。

* 大英博物館「**COLLECTION**」 <https://www.britishmuseum.org/collection>

イギリスの大英博物館で収集された約450万点のコレクションを閲覧できる。まるで現地で実際に鑑賞しているかのようなバーチャルツアーも体験可能。